

5 地域防災について

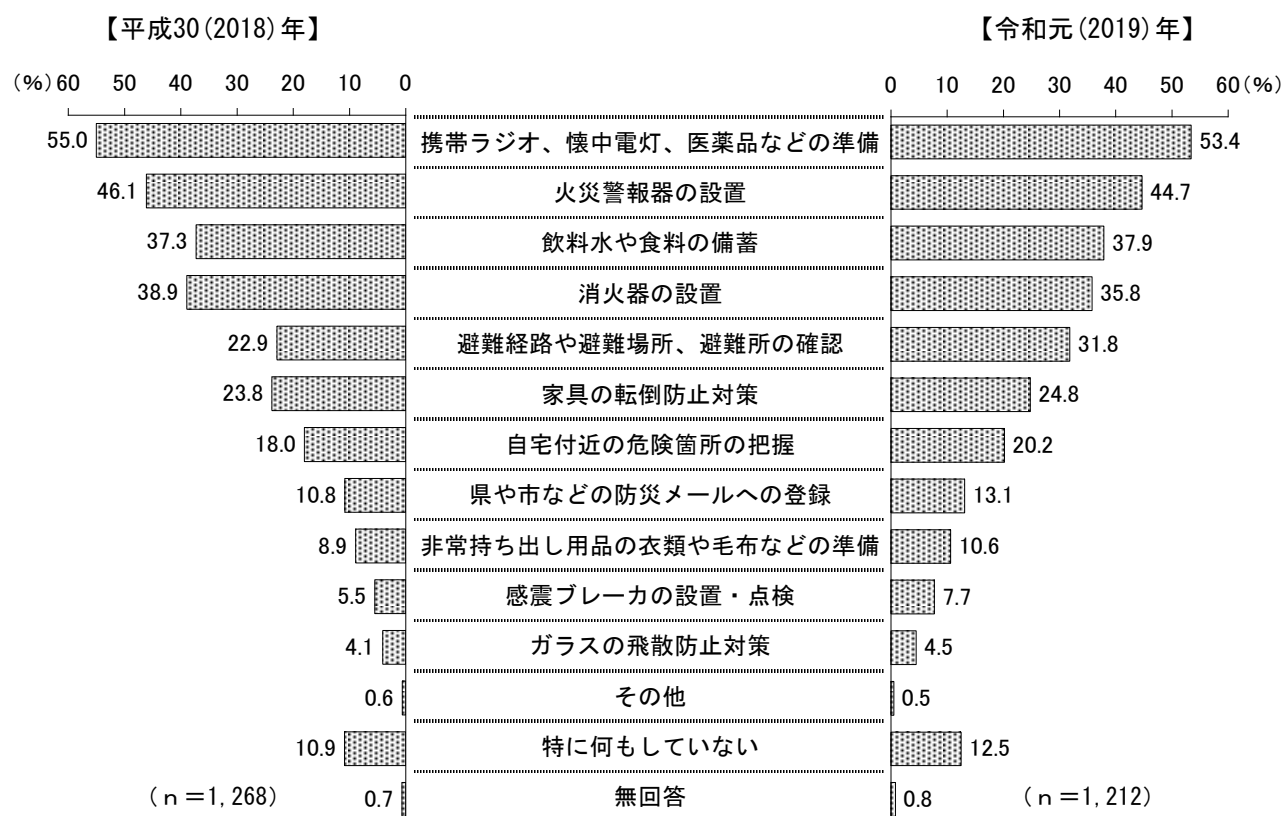
(1) 災害に対する備え

問14 あなたの家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,212]

1 消火器の設置	35.8%	8 感震ブレーカ(※)の設置・点検	7.7%
2 火災警報器の設置	44.7	9 避難経路や避難場所、避難所の確認	31.8
3 家具の転倒防止対策	24.8	10 県や市などの防災メールへの登録	13.1
4 ガラスの飛散防止対策	4.5	11 自宅付近の危険箇所の把握	20.2
5 飲料水や食料の備蓄	37.9	12 その他	0.5
6 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備	53.4	13 特に何もしていない	12.5
7 非常持ち出し用品の衣類や毛布などの準備	10.6	(無回答)	0.8

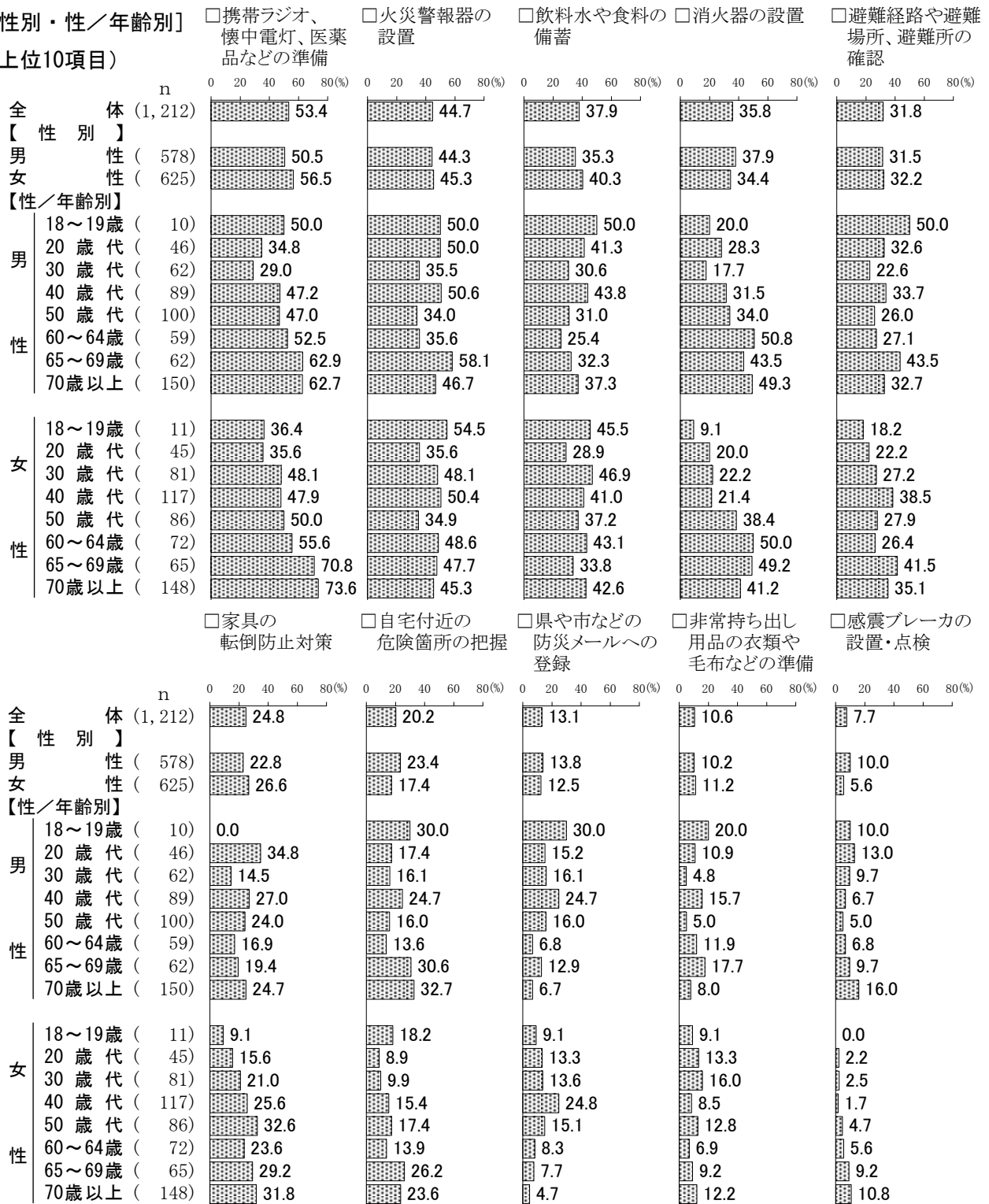
※ 感震ブレーカとは、地震の揺れをセンサーが感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に、配線用ブレーカ又は漏電ブレーカなどを遮断する器具をいいます。



全体で見ると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」(53.4%)が5割を超えて最も高く、次いで「火災警報器の設置」(44.7%)、「飲料水や食料の備蓄」(37.9%)、「消火器の設置」(35.8%)、「避難経路や避難場所、避難所の確認」(31.8%)の順となっている。

平成30(2018)年の調査結果と比較すると、「避難経路や避難場所、避難所の確認」が8.9ポイント増加している。一方、「消火器の設置」が3.1ポイント減少している。

【性別・性／年齢別】
（上位10項目）

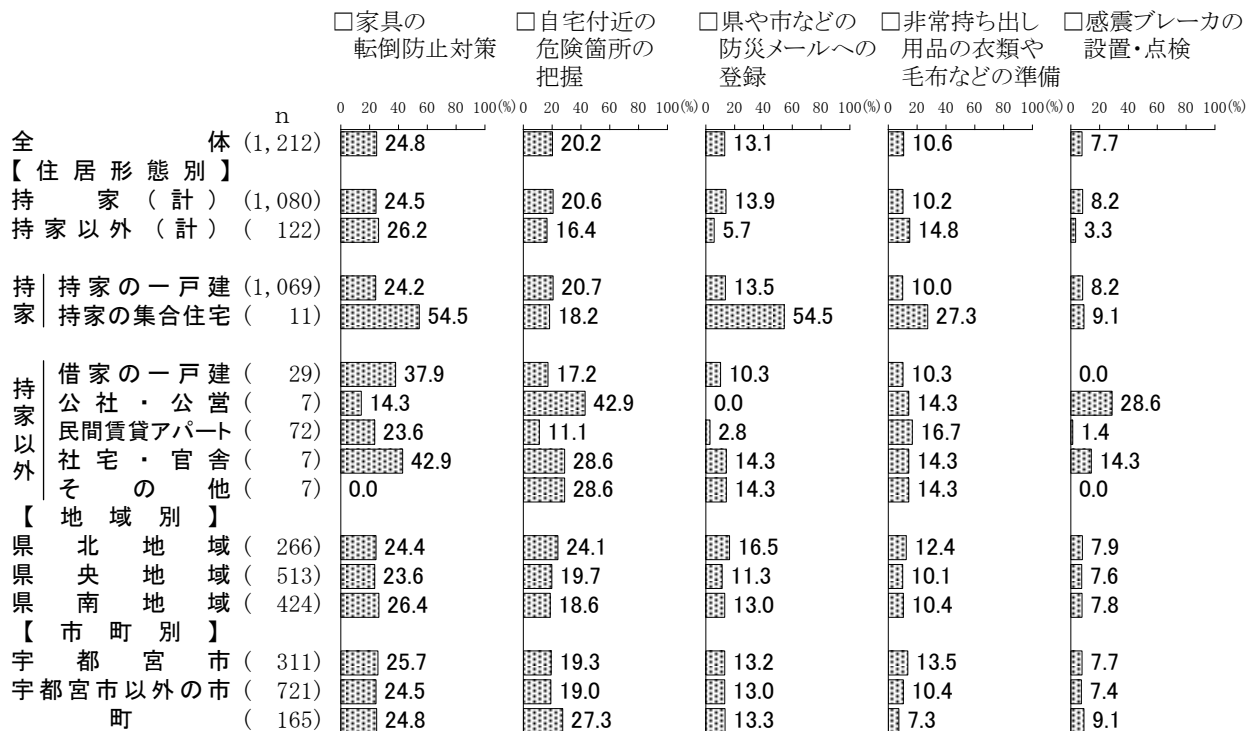
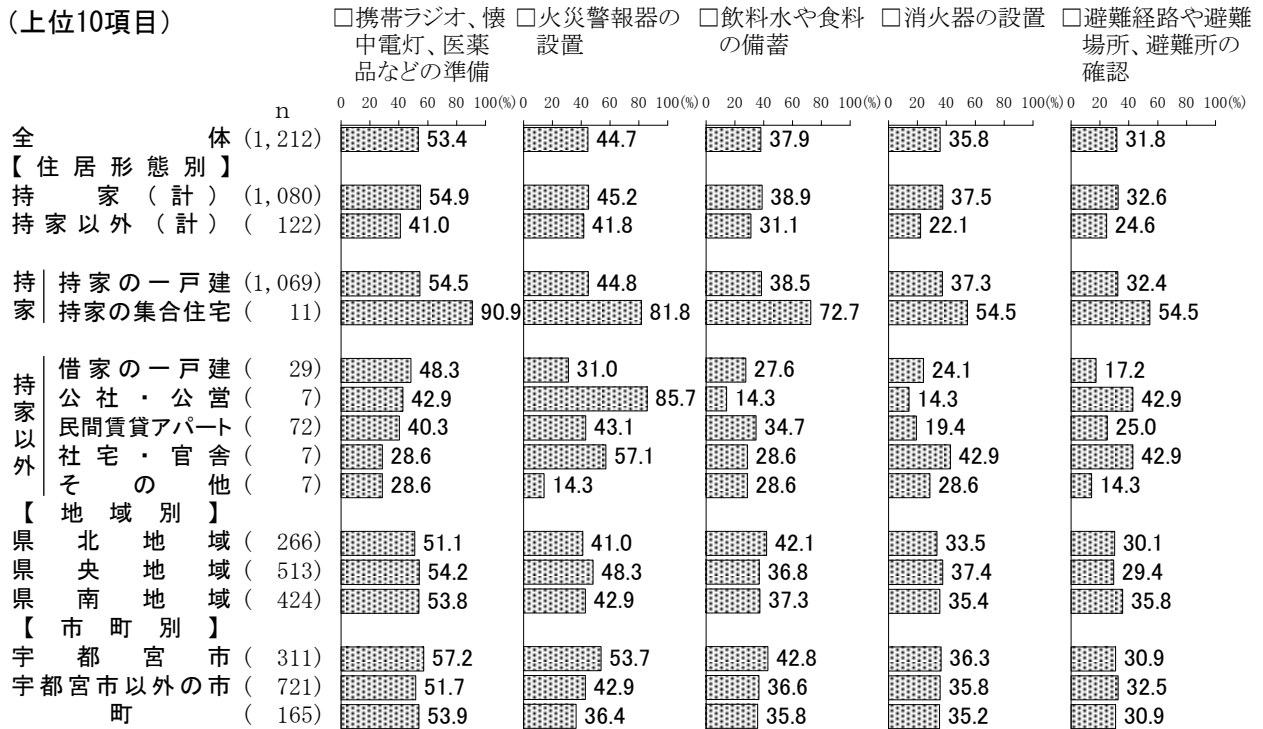


性別でみると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」では〈女性〉(56.5%)が〈男性〉(50.5%)より6.0ポイント高くなっている。「自宅付近の危険箇所の把握」では〈男性〉(23.4%)が〈女性〉(17.4%)より6.0ポイント高くなっている。「飲料水や食料の備蓄」では〈女性〉(40.3%)が〈男性〉(35.3%)より5.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」では〈女性70歳以上〉が73.6%、〈女性65～69歳〉が70.8%と高くなっている。「火災警報器の設置」では〈男性65～69歳〉が58.1%と高くなっている。「消火器の設置」では〈男性60～64歳〉が50.8%、〈女性60～64歳〉が50.0%と高くなっている。「避難経路や避難場所、避難所の確認」では〈男性65～69歳〉が43.5%、〈女性65～69歳〉が41.5%と高くなっている。「自宅付近の危険箇所の把握」では〈男性70歳以上〉が32.7%、〈男性65～69歳〉が30.6%と高くなっている。

[住居形態別・地域別・市町別]

(上位10項目)



住居形態別でみると、「消火器の設置」では〈持家(計)〉(37.5%)が〈持家以外(計)〉(22.1%)より15.4ポイント高くなっている。「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」では〈持家(計)〉(54.9%)が〈持家以外(計)〉(41.0%)より13.9ポイント高くなっている。

地域別でみると、「火災警報器の設置」では〈県央地域〉が48.3%と高くなっている。「飲料水や食料の備蓄」では〈県北地域〉が42.1%と高くなっている。

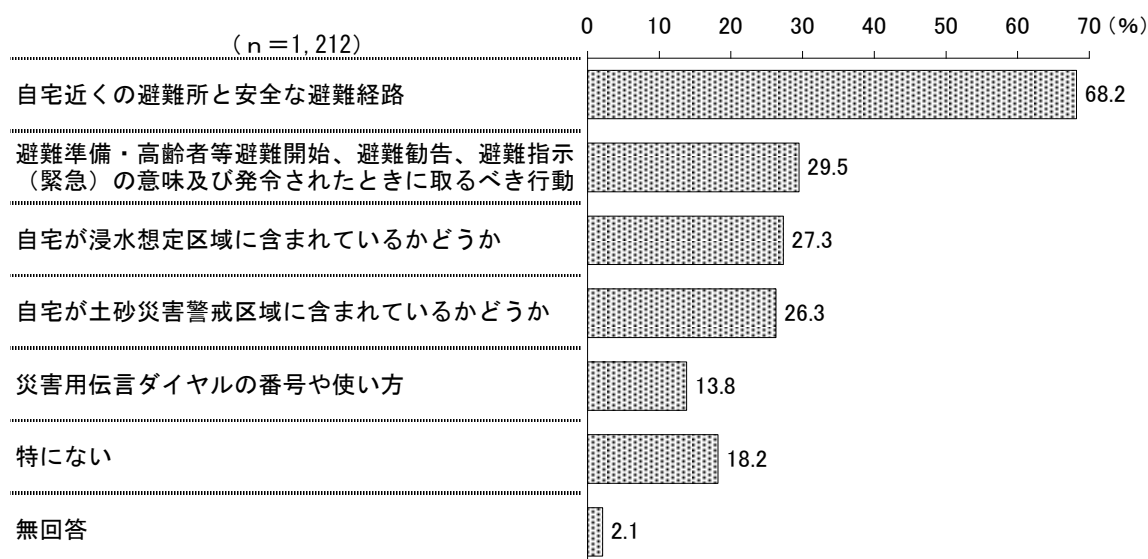
市町別でみると、「火災警報器の設置」では〈宇都宮市〉が53.7%と高くなっている。「飲料水や食料の備蓄」では〈宇都宮市〉が42.8%と高くなっている。「自宅付近の危険箇所の把握」では〈町〉が27.3%と高くなっている。

(2) 災害の際に必要となる情報について知っていること

問15 あなたは、災害の際に必要となる情報について、どのようなことを知っていますか。
次の中からいくつでも選んでください。

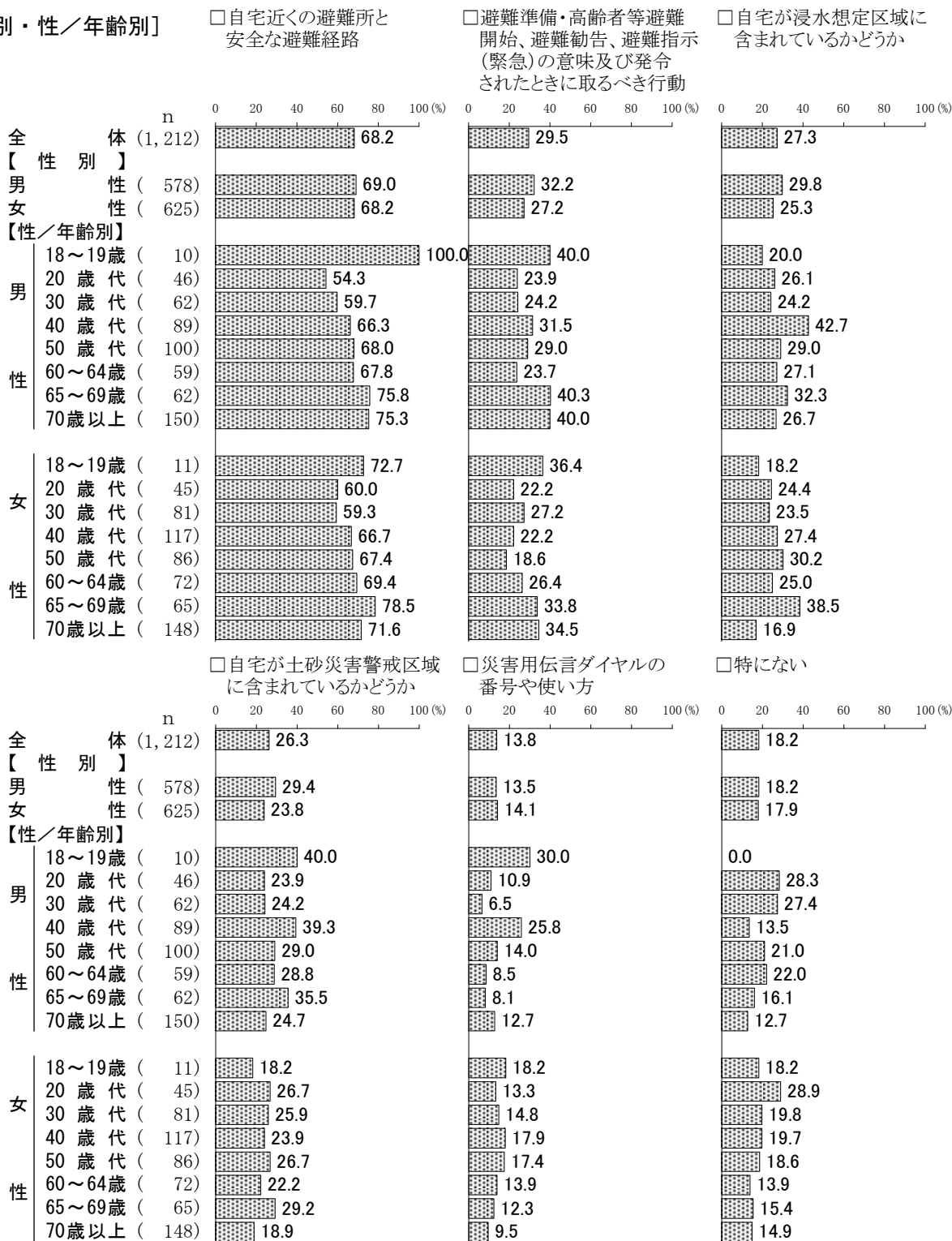
[n=1,212]

1	自宅近くの避難所と安全な避難経路	68.2%
2	避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）の意味及び発令されたとき取るべき行動	29.5
3	自宅が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか	26.3
4	自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか	27.3
5	災害用伝言ダイヤルの番号や使い方	13.8
6	特にない	18.2
	(無回答)	2.1



全体で見ると、「自宅近くの避難所と安全な避難経路」(68.2%)が7割近くで最も高く、次いで「避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）の意味及び発令されたとき取るべき行動」(29.5%)、「自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか」(27.3%)、「自宅が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか」(26.3%)の順となっている。

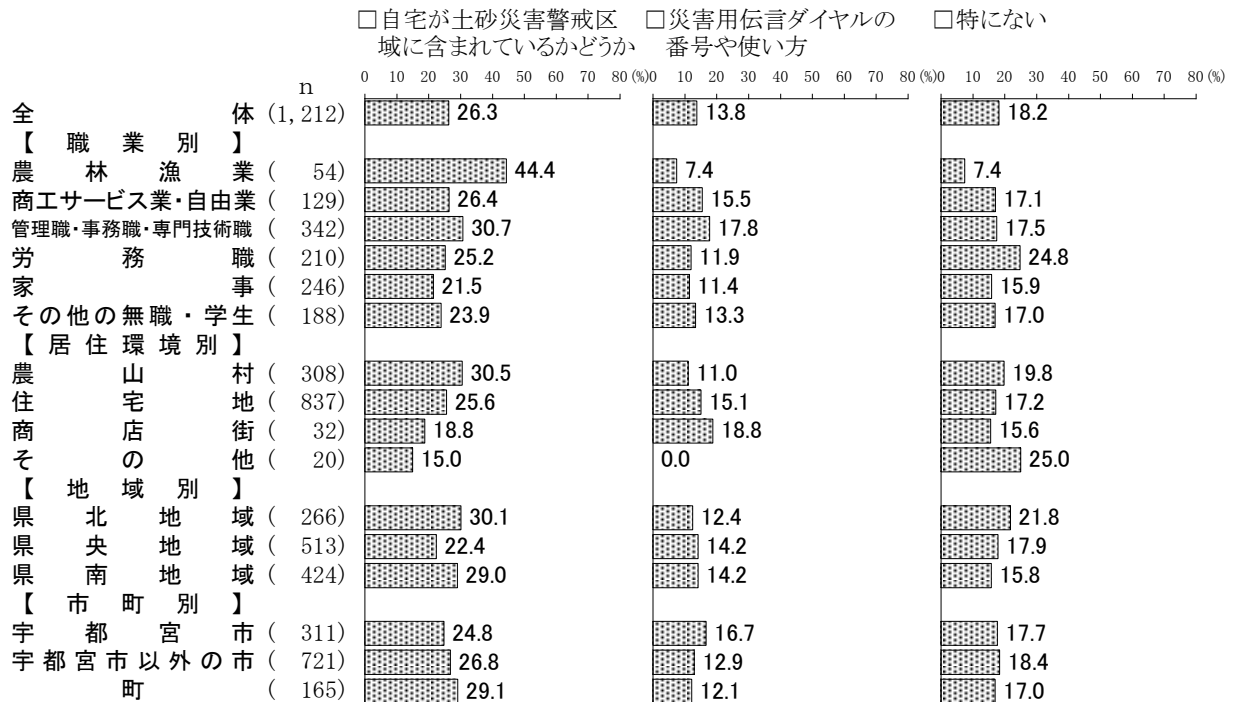
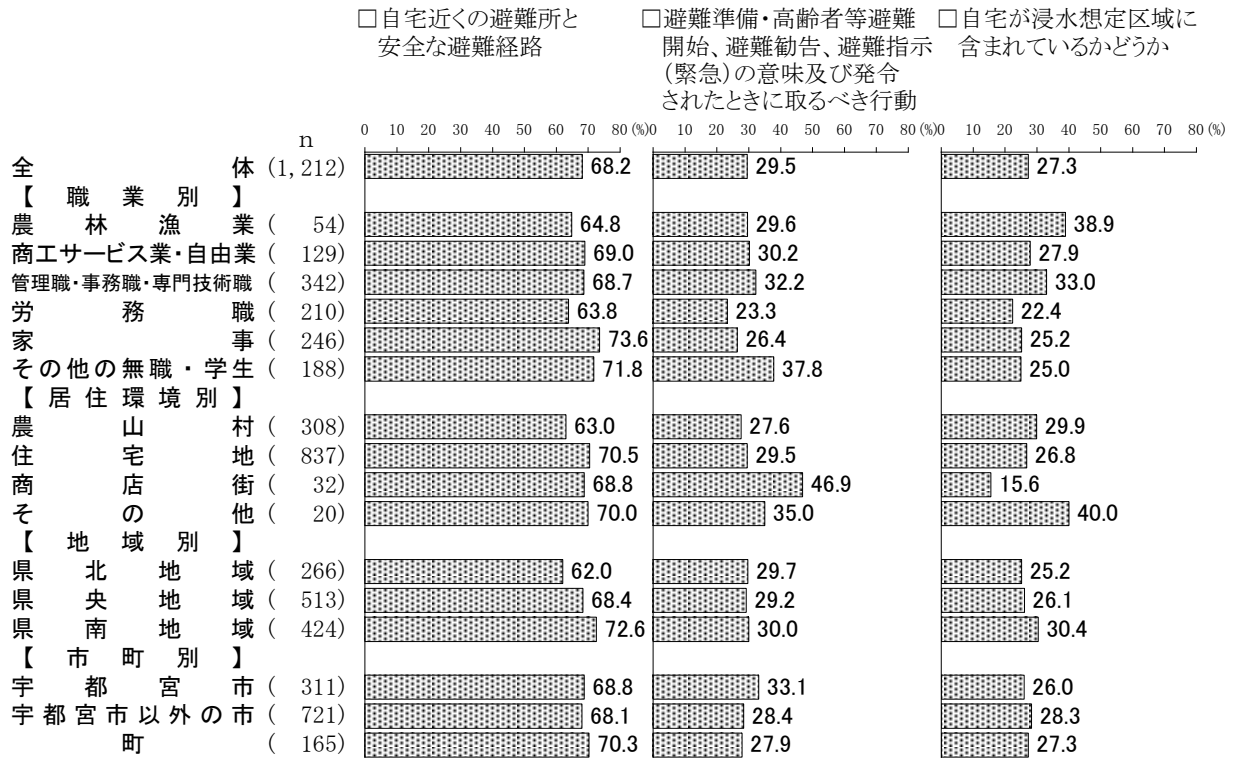
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「自宅が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか」では〈男性〉(29.4%)が〈女性〉(23.8%)より5.6ポイント高くなっている。「避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)の意味及び発令されたときに取るべき行動」では〈男性〉(32.2%)が〈女性〉(27.2%)より5.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「自宅近くの避難所と安全な避難経路」では〈女性65~69歳〉が78.5%と高くなっている。「避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)の意味及び発令されたときに取るべき行動」では〈男性65~69歳〉が40.3%、〈男性70歳以上〉が40.0%と高くなっている。「自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか」では〈男性40歳代〉が42.7%、〈女性65~69歳〉が38.5%と高くなっている。「自宅が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか」では〈男性40歳代〉が39.3%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）の意味及び発令されたときに取るべき行動」では〈その他の無職・学生〉が37.8%と高くなっている。「自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか」では〈農林漁業〉が38.9%と高くなっている。「自宅が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか」では〈農山村〉が30.5%と高くなっている。

居住環境別でみると、「避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）の意味及び発令されたときに取るべき行動」では〈商店街〉が46.9%と高くなっている。「自宅が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか」では〈農山村〉が30.5%と高くなっている。

地域別でみると、「自宅近くの避難所と安全な避難経路」では〈県南地域〉が72.6%と高くなっている。

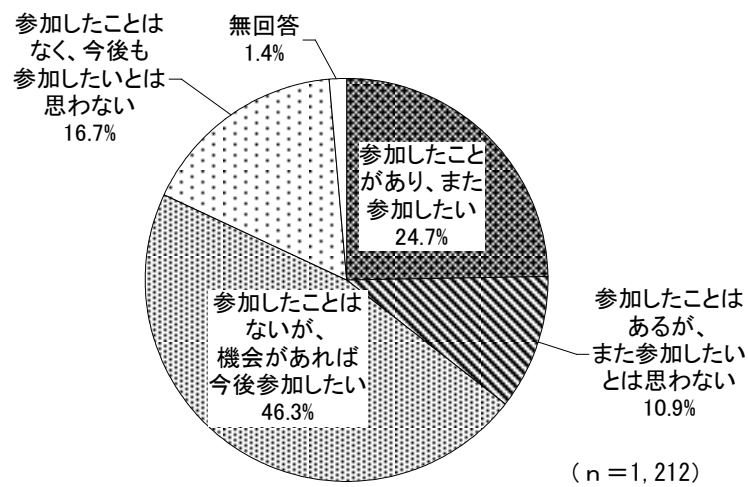
市町別でみると、「避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）の意味及び発令されたときに取るべき行動」では〈宇都宮市〉が33.1%と高くなっている。

(3) 防災訓練の参加状況

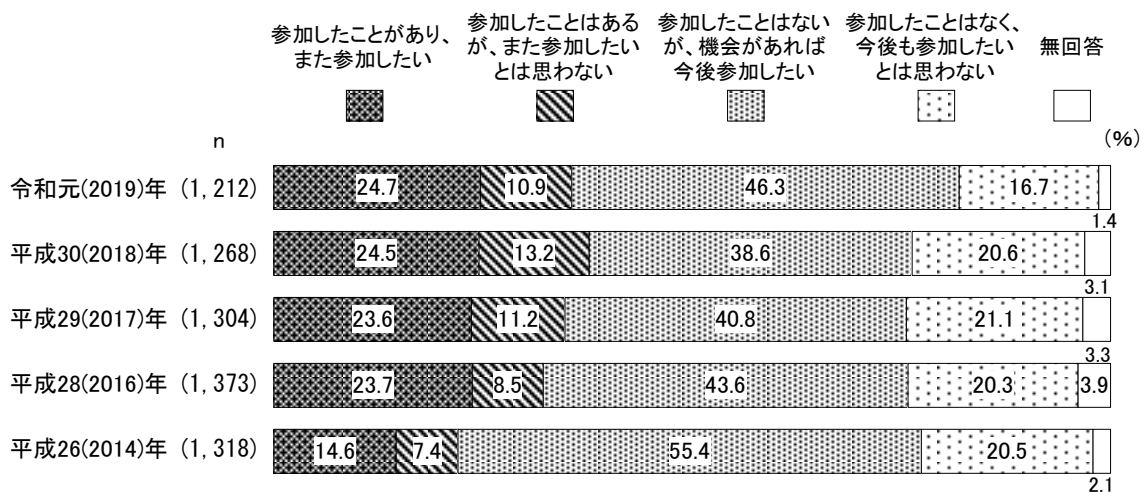
問16 あなたは、県や市町、自治会、企業などが行っている防災訓練に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,212]

1	参加したことがあります、また参加したい	24.7%
2	参加したことはあるが、また参加したいとは思わない	10.9
3	参加したことはないが、機会があれば今後参加したい	46.3
4	参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	16.7
	(無回答)	1.4

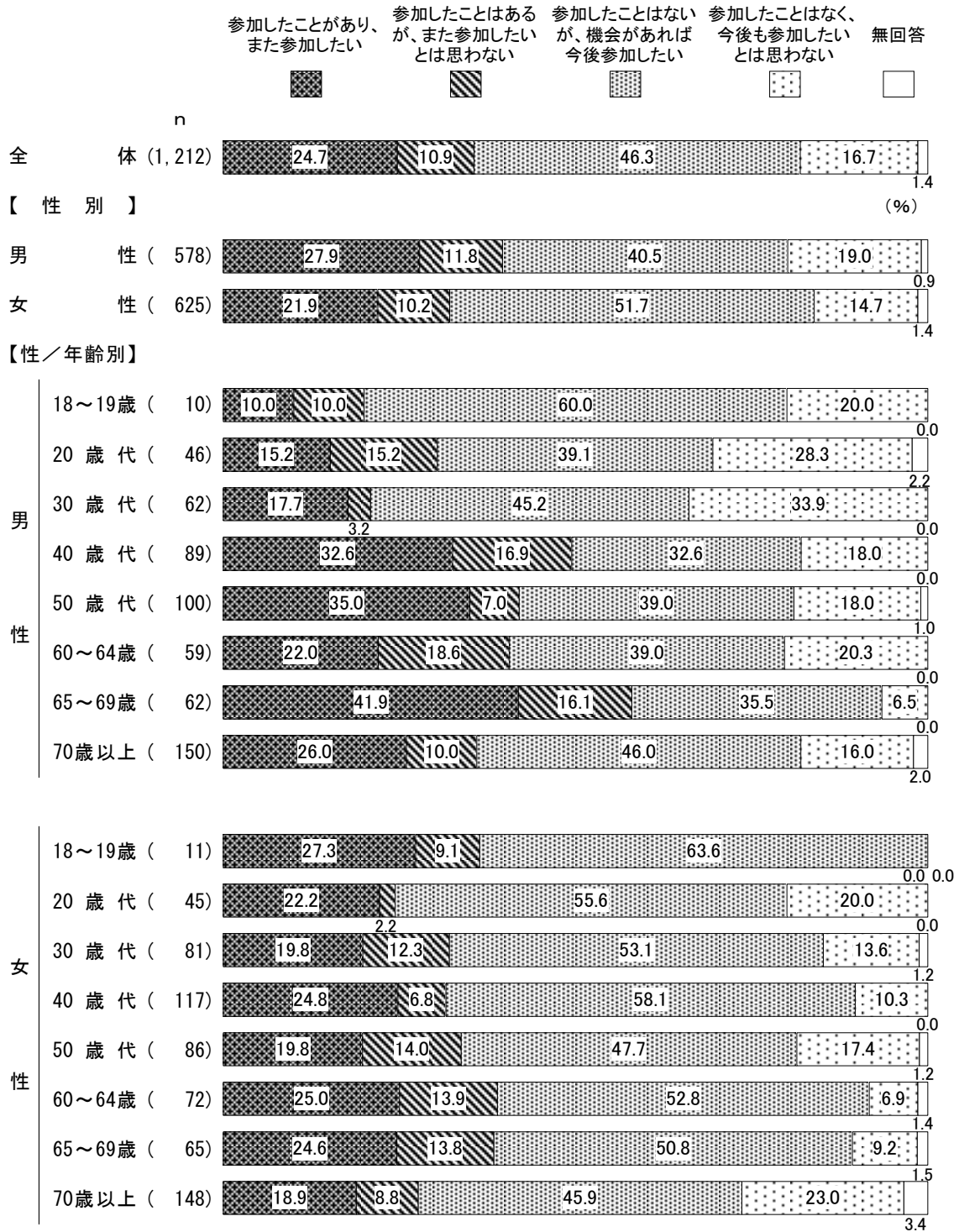


全体でみると、「参加したことがあります、また参加したい」(24.7%)は2割半ばとなっている。「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」(46.3%)は4割半ばで、「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」(16.7%)は2割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」が平成30(2018)年より7.7ポイント増加している。一方、「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」が平成30(2018)年より3.9ポイント減少している。

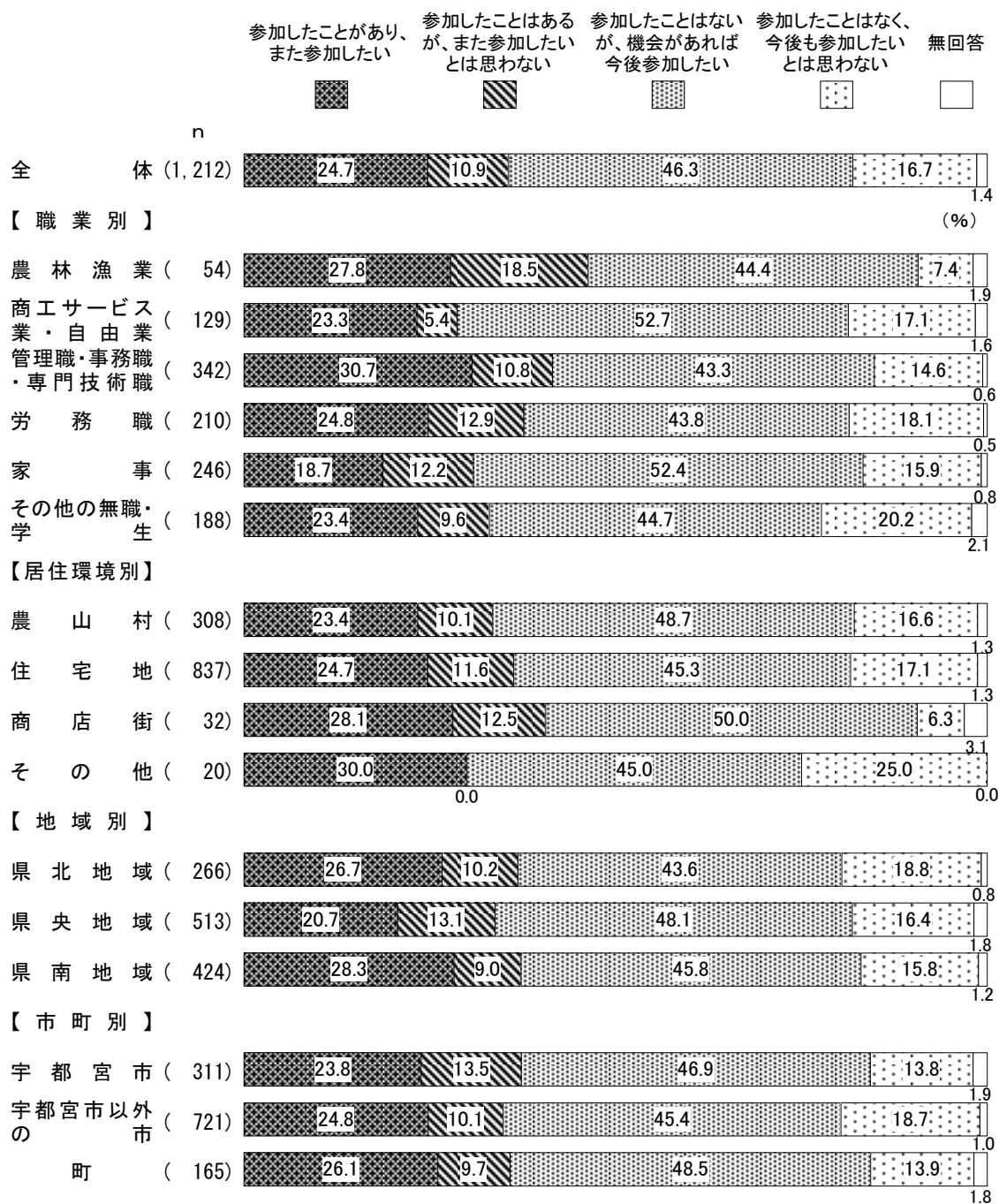
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」では〈女性〉(51.7%)が〈男性〉(40.5%)より11.2ポイント高くなっている。「参加したことがあり、また参加したい」では〈男性〉(27.9%)が〈女性〉(21.9%)より6.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈男性65～69歳〉が41.9%、〈男性50歳代〉が35.0%と高くなっている。「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」では〈女性40歳代〉が58.1%、〈女性20歳代〉が55.6%と高くなっている。「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈男性30歳代〉が33.9%、〈男性20歳代〉が28.3%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が30.7%と高くなっている。「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」では〈商工サービス業・自由業〉が52.7%、〈家事〉が52.4%と高くなっている。「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈その他の無職・学生〉が20.2%と高くなっている。

居住環境別でみると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈商店街〉が28.1%と高くなっている。

地域別でみると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈県南地域〉が28.3%と高くなっている。

市町別でみると、「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈宇都宮市以外の市〉が18.7%となっている。